

県立広島大学宮島学センター公開講演会

「嚴島神社と平清盛」

日時：平成23年12月18日（日）

13時20分～16時(12時30分開場)

場所：県立広島大学

広島キャンパス・大講義室

13:20～ 開会あいさつ 赤岡 功 県立広島大学理事長・学長

13:30～ 講演1

「平清盛を嚴島神社に誘ったもの—地方霊場の輝きをめぐって—」

松井 輝昭 県立広島大学教授(宮島学センター長)

14:50～ 講演2

「嚴島神社と平清盛」

五味 文彦 放送大学教授(東京大学名誉教授)

■ 募集人数 70人 ※参加費無料

■ 申込方法

往復はがきの往信裏面に①名前、②ふりがな、③郵便番号、④住所、⑤電話番号を、返信表面に受講される方の名前と住所をご記入の上、下の申込先に郵送してください。※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は、県立広島大学宮島学センターの公開講座・公開講演会等の事業以外の目的には使用しません。

※おひとり1枚のはがきでご応募ください。

■ 申込締切 12月2日（金）消印有効

■ 申込(問合)先

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71

県立広島大学宮島学センター

「公開講演会・嚴島神社と平清盛」係

TEL082-251-5178 (代表)

082-251-9550 (直通)

申込者多数の場合は抽選とします。予めご了承ください。



主催：県立広島大学宮島学センター

後援：大河ドラマ「平清盛」広島県推進協議会、大河ドラマ「平清盛」廿日市市推進協議会
社団法人宮島観光協会、NHK広島放送局

講演1「平清盛を厳島神社に誘ったもの—地方霊場の輝きをめぐって—」 松井 輝昭 県立広島大学人間文化学部教授(宮島学センター長)



講師プロフィール

1948年福井県生まれ。1977年広島大学大学院文学研究科博士課程前期修了。広島県立文書館主任研究員、鈴峯女子短期大学教授を経て、2008年より県立広島大学教授。博士(文学)。専門は日本文化史。著書に『厳島文書伝来の研究』(吉川弘文館、2008年)、共著に『海と風土—瀬戸内海地域の生活と交流』(雄山閣、2002年)、『中世瀬戸内の流通と交流』(塙書房、2005年)、『毛利元就と地域社会』(中国新聞社、2007年)ほか。

講演の要旨

平清盛は「宿願」をかなえるため、永暦元年(1160)に初めて厳島神社に参詣した。彼の厳島信仰はこののちますます強まるが、厳島神社の地方霊場としての在り方を通して、その契機や背景と考えられるものを探ることにする。

講演2「厳島神社と平清盛」 五味 文彦 放送大学教養学部教授(東京大学名誉教授)

講師プロフィール

1946年 山梨県生まれ。1970年 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。東京大学助手、神戸大学講師、お茶の水女子大学助教授、東京大学助教授を経て1992年 東京大学教授。2006年より放送大学教授、東京大学名誉教授。文学博士。専門は日本中世史。『院政期社会の研究』(山川出版社、1984年)、『武士と文士の中世史』(東京大学出版会、1992年)、『平清盛』(吉川弘文館、1999年)、『書物の中世史』(みすず書房、2003年)ほか著書・編著多数。

講演の要旨

武家政権を拓くにあたって、平清盛は厳島神社に何を求めたのか、平氏一門の動きやその周辺の人々の動きを交えて探るとともに、華麗な『平家納経』に籠められた清盛の発願の意図についても考える。

- 広島駅から
【バス】
広島バス「31号(翠町)線」にて「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車-徒歩1分
- 【市内電車】
[5] 広島港(宇品)行きにて「県病院前」下車-徒歩7分
- バスセンター(紙屋町)から
【市内電車】
[1] [3] 広島港(宇品)行きにて「県病院前」下車-徒歩7分
- 広島港(宇品)から
【市内電車】
[1] [5] 広島駅行き又は[3] 広電西広島(己斐)行きにて「県病院前」下車-徒歩7分
- 八丁堀(天満屋前)から
【バス】
広電バス「12号線(仁保沖町)」にて「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車-徒歩1分



※キャラクターは県立広島大学国際文化学科4年吉井梢さんデザインの「平清盛」。